

ニュースリリース

「3次元異方性のある誘電体多層薄膜の解析が可能な 世界初の RCWA 法解析ソフトウェア DiffRACTMOD」

日本アールソフトデザイングループ株式会社(代表取締役社長 尾崎透徹 東京都港区芝 1-9-6)は米国 RSoft Design Group, Inc.(RSoft 社)が開発しました光デバイス設計・シミュレーション・ソフトウェア DiffRACTMOD Ver. 3.2 の販売を 2010 年 9 月 13 日より開始いたしました。価格は190万円から、初年度販売見込み50本、主に化学/液晶メーカー、光ファイバ/レーザ・メーカー、太陽電池/光学材料/光部品/光半導体メーカー、デジタル家電/光学機器メーカー、WDM/SONET/SDH 装置メーカー、光関連研究機関、大学等に拡販する予定。

最新の複雑なナノ・テクノロジーや異方性材料、液晶などの微細な光学部品の開発では生産性の向上、開発期間の短縮が不可欠であり、高機能なシミュレーション・ソフトウェアが必須になっています。DiffRACTMOD Ver. 3.2 は、従来の RCWA 法では計算できなかった異方性のある 3 次元材料の解析が可能となった世界初の RCWA 法シミュレーション・ソフトウェアです。異方性のある薄膜解析は、単純な計算アルゴリズムでは不可能で、DiffRACTMOD のような高機能なソフトウェアが必要になります。

DiffRACTMOD Ver. 3.2の新機能

- 3次元異方性材料の解析が可能
- 任意の位置と大きさを設定したモニタにより、各フィールド、パワー、吸収の計算が可能
- ポインティング・ベクトルの表示が可能
- 複数のモニタを設定可能
- MOST クラスタと組み合わせて、多変数パラメータ・スキャンの計算を並列化し超高速に実行可能
- 太陽電池ユーティリティと組み合わせて、セル効率、J-V カーブ、量子効率等の計算が可能
- RSoft 社の各ツールと組み合わせて使用可能

DiffRACTMOD Ver. 3.2 は Windows XP/VISTA/7、Linux 環境で稼働します。

- 記載されている社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

より詳細な情報は

日本アールソフトデザイングループ株式会社
〒105-0014 東京都港区芝 1-9-6 マツラビル 2F
電話: 03-5484-6670 FAX: 03-5484-2288
URL: <http://www.rsoftdesign.co.jp/>
Email: akagi@rsoftdesign.co.jp

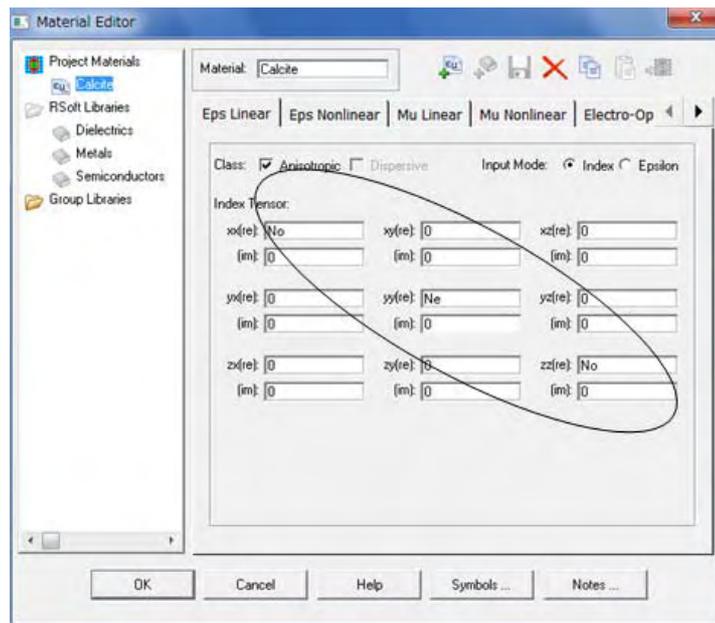
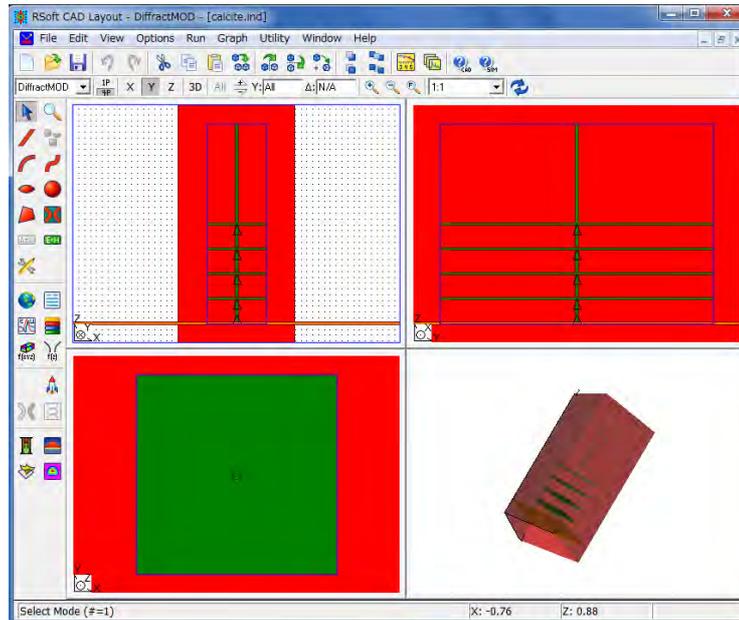


図 異方性材料の 3 次元 CAD 画面とテンソル形式による屈折率入力